

令和元年度

一般会計決算に係る主要な施策の成果等報告書

西いぶり広域連合

1. 西いぶり広域連合一般会計予算の執行と成果の概要

(1) 一般会計補正予算の状況 () は、当初予算額及び補正後予算額を示す。

(単位 千円)

区 分	補 正 額	補 正 の 主 な 内 容
当 初 予 算 H31. 2. 20 議決	(2, 055, 520)	
補正予算第1号 R1. 5. 24 議決	35, 692 (2, 091, 212)	介護保険システム改修、福祉システム改修、子ども・子育て支援システム改修、給与費
補正予算第2号 R1. 9. 2 議決	14, 254 (2, 105, 466)	人事給与システム改修、印鑑登録システム改修、上下水道料金システム改修
補正予算第3号 R1. 11. 25 議決	—	債務負担行為設定(西胆振地域廃棄物広域処理施設老朽化対策業務委託)
補正予算第4号 R2. 2. 20 議決	—	債務負担行為設定(共同電算用システム等保守業務委託、コンビニ交付システム保守業務委託、福祉システム保守業務委託、上下水道料金システム保守業務委託、上下水道料金システム改修業務委託、介護保険システム改修業務委託)
補正額合計	49, 946	

(2) 歳入歳出予算の執行結果

予算現額との比較で、歳入では、72,554千円の減収となりました。これは、日本容器包装リサイクル協会からの拠出金収入等があったものの、歳出で不用額が生じたことにより関係市町負担金が減少したことなどによるものです。

歳出では、74,482千円の不用額が生じました。この主な要因は、予算額に比べ、共同電算に係るシステム保守委託料の減少等による情報処理費の減、西胆振地域廃棄物広域処理施設の運転保守管理受託会社への施設運転保守管理業務委託費(補填措置分)が減少したことなどによる中間処理施設運営費の減などによるものです。この結果、実質収支額(決算剰余金)は、1,928千円となりました。

(3) 債務負担行為

令和元年度に債務負担行為を設定した事項について、契約締結等による令和2年度以降の支出額は次のとおりです。

(単位 千円)

事 項	限度額	令和2年度以降 支出額	支出期間	備 考
戸籍・附票管理システム更新	75, 300	75, 274	令和2年度から 4年度以内	
上下水道料金システム更新	43, 600	43, 588	令和2年度から 4年度以内	
福祉システム更新	38, 300	37, 092	令和2年度から 4年度以内	
西胆振地域廃棄物広域処理施設 老朽化対策業務委託	420, 000	420, 000	令和2年度	

共同電算用システム等保守業務委託	207,900	207,713	令和2年度	
コンビニ交付システム保守業務委託	10,600	10,516	令和2年度から4年度以内	
福祉システム保守業務委託	24,200	24,200	令和2年度から2年度以内	
上下水道料金システム保守業務委託	11,800	11,792	令和2年度から2年度以内	
上下水道料金システム改修業務委託	2,900	2,882	令和2年度	
介護保険システム改修業務委託	900	844	令和2年度	

(4) 繰越事業

① 前年度からの繰越事業

平成30年度から繰り越した事業の令和元年度の執行状況は、以下のとおりです。

(単位 千円)

区分	款	事業名	繰越額	支出済額	不用額
繰越明許費	情報処理費	プレミアム付商品券事業対応経費	8,230	2,997	5,233
繰越明許費	情報処理費	健康管理システム改修	3,498	3,435	63

(5) 主要施策の成果概要

① 西胆振地域廃棄物広域処理事業

ごみ処理施設の令和元年度のごみ搬入量は、前年度の可燃ごみ40,567.78トン、不燃・粗大ごみ8,453.34トン、合計49,021.12トンから、可燃ごみ40,042.94トン、不燃・粗大ごみ9,348.38トン、合計49,391.32トンとなり、約370トン、0.8%の増量となりました。これは、主として公共工事により生じた事業系廃棄物の増加などによるものと考えられます。

令和元年度も、西胆振地域廃棄物広域処理施設の運転保守管理受託会社である西胆振環境㈱に対し、広域処理施設の安定的な運営の継続を目的として、369,474千円の施設運転保守管理業務委託費（補填措置分）の支出により経営支援を行いました。

② 最終処分場運営事業

最終処分場の令和元年度のごみ埋立量は脱塩残渣1,560.62トン、処理不適物等2,858.44トンの合計4,419.06トン。覆土は371トンでした。

③ リサイクルプラザ運営事業

令和元年度の資源ごみ処理量は、缶類343.95トン、びん類779.44トン、ペットボトル418.24トン、合計1,541.63トンで、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルの売払で37,500千円、また日本容器包装リサイクル協会からの有償入札拠出金及び再商品合理化拠出

金で 4,622 千円の収入がありました。ペットボトルの処理では、日本容器包装リサイクル協会への引き渡し（指定法人ルート）が 185.31 t、民間事業者への売却（独自ルート）が 232.93 t で、独自ルートでは 3 カ月ごとの入札により事業者を決定しました。

環境学習施設では、廃油石けん作りや和こものづくりなど各種体験学習講座、夏休みと冬休みの小学生向けの特別講座のほか、不用品のフリーマーケットを行い、施設見学と合わせて 5,263 人の利用がありました。

また、再生家具の展示・販売を 6 月、9 月、1 月の 3 回行い、24 件で 49 千円の売払収入がありました。

④ 新中間処理施設整備事業

新中間処理施設の整備に向け、生活環境影響調査として当広域連合敷地内及び近隣地区での大気質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、建設予定地の地質調査や測量を実施しました。

また、新中間処理施設の整備・運営事業者の選定に関しては、事業の内容、事業者の選定方法、選定スケジュール、仕様やサービスの水準等を公表し、整備・運営事業者の募集を行いました。

⑤ 余熱利用施設等運営事業

げんき館ペトトルにおいては、午後 1 時から 8 時までの一般利用のほかに、午前中の専用利用では、近隣の小学校のプール授業での活用、指定管理者による健康増進・ダイエットを目的としたアクアエクササイズ教室や水泳教室の開催、キッズパーク（幼児の遊び場）の通年開催など利用拡大に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和 2 年 2 月 27 日から 3 月末まで臨時休業としたため、利用者数は、温水プール 19,968 人（小学校プール授業 4,895 人を含む）、体育館 13,247 人、多目的室 836 人（キッズパーク 346 人を含む）の合計 34,051 人となり、5,871 千円の利用料金収入がありました。

⑥ 共同電算システム運用事業

共同電算システムの運用では、登別市において、コンビニエンスストアなどに設置されているマルチコピー機から、マイナンバーカードを利用し、住民票の写しや印鑑登録証明書等の各種証明書を交付するためのコンビニ交付システムを整備したほか、子ども子育て支援法の一部を改正に伴う、幼児教育無償化などに対応するための子ども子育て支援システムの改修など各種制度改正等に対応しました。

また、各種システムの Windows7 及び Windows Server 2008 サポート切れなどに対応しました。

2 主要な施策の成果

(1) 一般会計

款	目	事業名	決算額	財源	
				特 定	財 債
				国道支出金	地方債
情報処理費	情報処理費	西いぶりデータセンター運営管理経費	31,421		
		共同電算システム運用経費	476,442		
		西いぶりデータセンター整備事業費	28,512		
ごみ処理費	中間処理施設運営費	中間処理施設管理運営経費	1,096,940		
最終処分場運営費	最終処分場管理運営経費		47,594		
リサイクルプラザ運営費	リサイクルプラザ管理運営経費		62,348		
中間処理施設建設費	中間処理施設整備基本計画策定及び生活環境影響調査業務委託 地質調査業務委託		51,174	5,225	
			11,440	1,283	
			5,292	550	
			19,503	2,109	
			2,970		
			4,279		
土木費	余熱利用施設等運営費	余熱利用施設等管理運営経費	46,683		

内 訳		事業等実施の成果概要	
源	一般財源		
その他			
	31,421	データセンターの維持管理	
	476,442	システム保守業務委託	10件
		機器保守業務委託	5件
		制度改正等対応業務委託	32件
	28,512	帳票処理機器等更新 外	
170,663	926,277	ごみ搬入量	49,391.32t
		可燃ごみ	40,042.94t
		不燃・粗大ごみ	9,348.38t
		周辺環境モニタリング（大気環境）	
		使用済み乾電池処理量	19,450kg
		施設運転保守管理業務委託費（補填措置分）	
		定期整備用駐車場通路設置工事	
18,728	28,866	ごみ埋立量	4,419.06t
		脱塩残渣	1,560.62t
		処理不適物等	2,858.44t
		覆土量	371t
		残余容量	968.182m ³
42,213	20,135	資源ごみ処理量	1,541.63t
		缶類	343.95t
		びん類	779.44t
		ペットボトル	418.24t
		（ペットボトル処理の内訳）	
		指定法人ルート	185.31 t
		独自ルート	232.93 t
		環境学習施設利用者数	5,263人
		体験学習（廃油石けん作り）	8人
		夏休み・冬休み講座等	2,119人
		施設見学・フリーマーケット	3,136人
		再生家具の展示・販売（年3回）	24件
	45,949		
	10,157		
	4,742		
	17,394		
	2,970		
	4,279		
226	46,457	げんき館ペトトル利用者	34,051人
		温水プール（自主事業受講者含む）	15,073人
		体育館（自主事業受講者含む）	13,247人
		多目的室・研修室・健康情報室	490人
		小学校プール授業	4,895人
		キッズパーク	346人